

報告第6号

令和6年度健全化判断比率について

地方公共団体の財政の健全化に関する法律(平成19年法律第94号)第3条第1項の規定により、令和6年度健全化判断比率を別紙監査委員の意見を付けて報告する。

記

(単位：％)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
—	—	4.0	29.7
早期健全化基準			
(13.09)	(18.09)	(25.0)	(350.0)
財政再生基準			
(20.00)	(30.00)	(35.0)	—

令和7年8月27日提出

阪南市長 上 甲 誠

令和6年度 阪南市健全化判断比率審査意見書

1 基準に準拠している旨

監査委員は、阪南市監査基準に準拠して審査を行った。

2 審査の種類

健全化判断比率審査（地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定による審査）

3 審査の対象

令和6年度阪南市健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

4 審査の着眼点

健全化判断比率の計数の正確性、関係法令との適合性、財政状況の健全性

5 審査の主な実施内容

令和6年度決算に基づく健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類を照合するとともに、関係部署の説明を求め審査を実施した。

6 審査の結果

審査に付された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも関係法令等に準拠して作成され、その算定は適正であると認められた。

令和 6 年度決算に基づく健全化判断比率は、次表のとおりである。

健全化判断比率	令和 6 年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.09 %	20.0 %
連結実質赤字比率	—	18.09 %	30.0 %
実質公債費比率	4.0 %	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	29.7 %	350.0 %	

※令和 6 年度の実質赤字比率、連結実質赤字比率が「—」となっているのは、本市のすべての会計が黒字であり、算定の基礎となる赤字額がないことを表す。

7 意 見

令和 6 年度決算に基づく健全化判断比率は、早期健全化基準を下回っていることが認められた。

今後においても、行財政構造改革プラン改訂版の着実な実行により財政規律を維持し、適切な財政運営に努められたい。